

議会だより

あさぎり町議会

検索



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

～“まち”の動きがよく分かる!～

球磨酪農

第17回 ホルスタインベビーショウ

ジュニアチャンピオンおめでとう!

【出場者】 林田 悠花さん
はるか



【出品者】 林田 敏之さん

通年議会 第3回～第4回会議

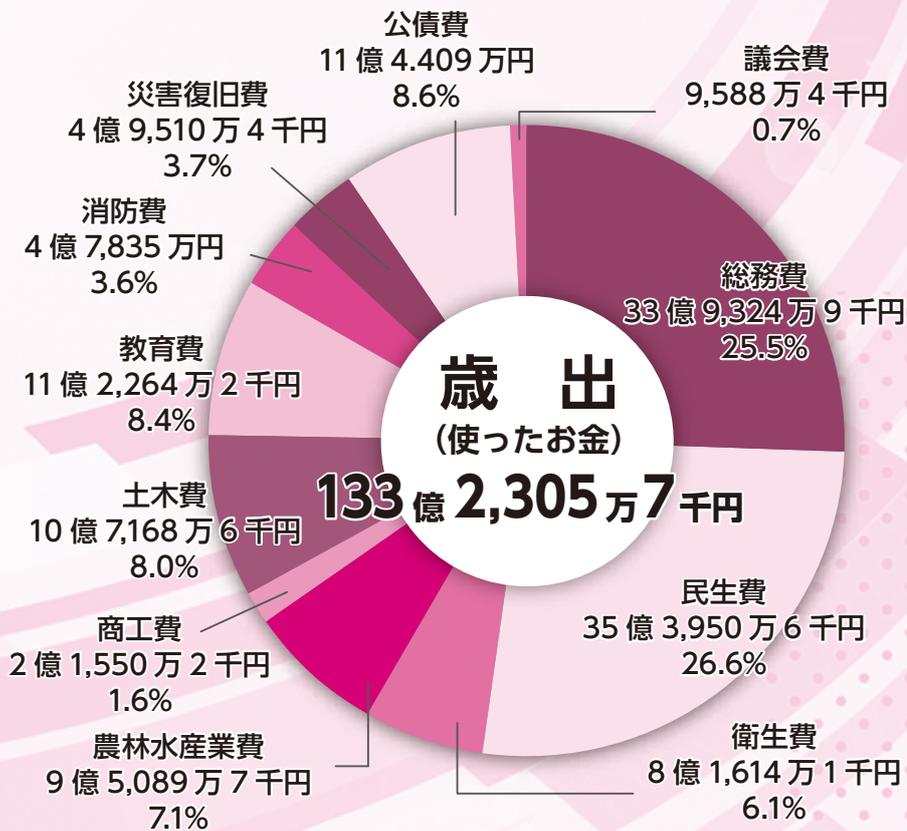
決算認定	2～7	一般質問	10～15
第3～4回内容	8～9	議員活動報告	16～19

2,305万7千円

一般会計歳出

第4回 会議

9月定例会は、9月8日から9月19日までの日程で開催された。一般質問には6名の議員が登場し活発な議論が行われた後、条例4件、補正予算4件、決算認定8件、決算報告4件、権利放棄1件が上程された。令和6年度一般会計歳入歳出決算については、反対討論・賛成討論が行われ賛成多数で認定され、追加提案された議案を含め慎重審議の結果、全ての議案が可決、認定された。



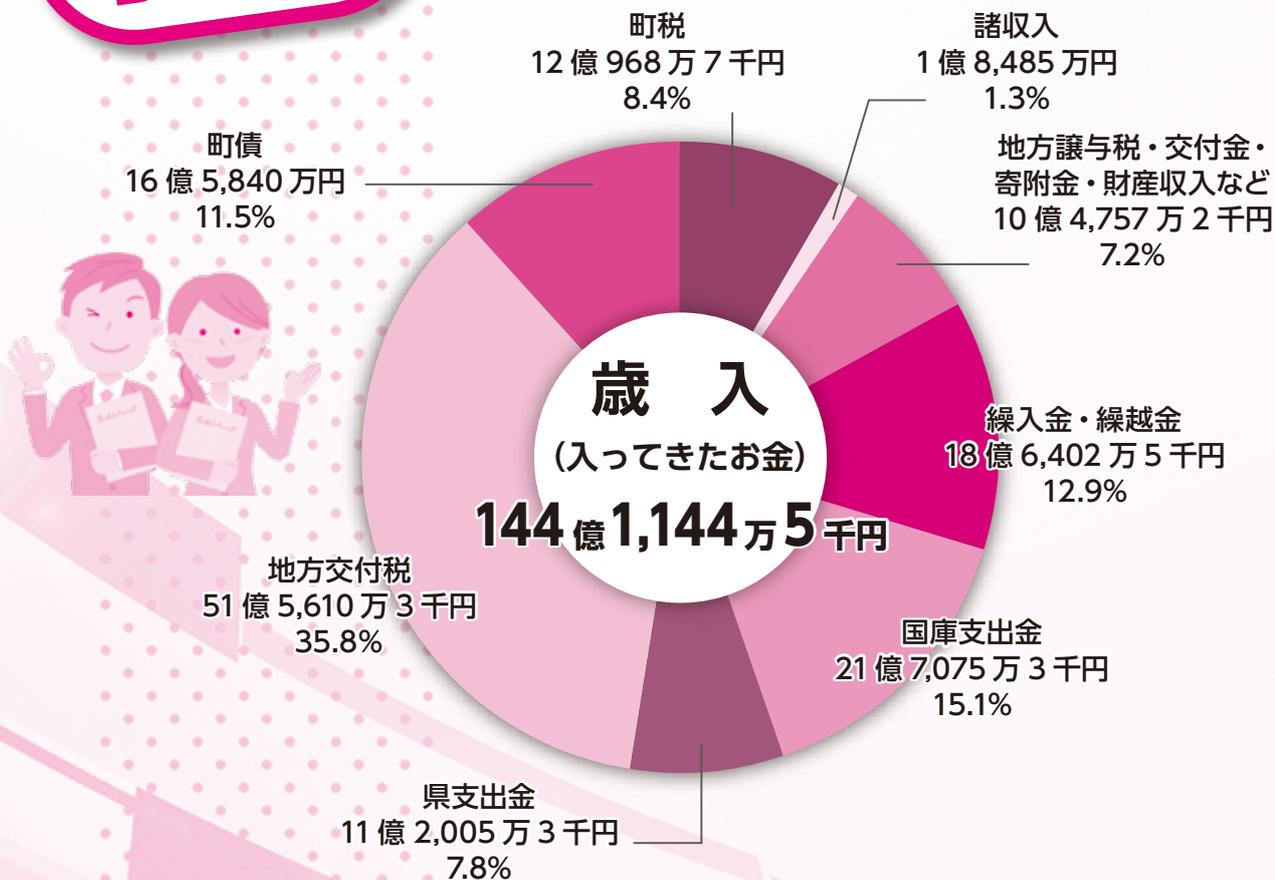
※千円未満は切り捨てのため、総額とは必ずしも一致しません。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	20億 5,500万 6千円	20億 4,777万 9千円
後期高齢者医療保険	3億 455万 7千円	2億 7,505万 8千円
介護保険	21億 6,996万 5千円	19億 9,882万 2千円
球磨郡介護認定審査事業	5千 309万 6千円	3千 629万 3千円
球磨郡障害認定審査事業	1千 93万円	671万 7千円
水道事業	収益的収支	4億 3,359万 7千円
	資本的収支	4億 5,012万 0千円
下水道事業	収益的収支	6億 6,485万 7千円
	資本的収支	2億 6,446万 6千円

賛成多数で
認定

令和 6 年度

決算 133 億



〈基金の状況〉

熊本県下 45 市町村のうち 6 番目の保有高

基金の名称	令和 5 年度末現在高	令和 6 年度末現在高	
財政調整基金	48億2,909万3,992円	52億6,162万3,832円	
まちづくり基金	11億5,778万570円	9億6,107万8,757円	
ふるさと基金	8億656万2,123円	7億2,579万2,951円	
公共施設整備基金	12億2,209万3,866円	12億4,068万8,190円	
産業活性化基金	2億8,638万3,935円	2億5,050万4,757円	
林業振興基金	2億2,380万3,245円	2億2,237万6,935円	
森林環境譲与税基金	2,342万1,669円	3,490万2,341円	
学校教育施設整備基金	1億2,960万7,166円	8,802万4,617円	
国民健康保険財政調整基金	3億646万7,547円	2億937万409円	
介護保険給付費準備基金	1億8,865万381円	2億8,923万3,538円	
減債基金	12億8,361万6,098円	12億7,858万8,153円	
まち・ひと・しごと創生推進基金	1,215万6,021円	376万5,783円	
防災基金	2,773万696円	2,460万6,361円	
定額運用	奨学基金	2億2,987万2,939円	2億3,028万9,727円
	高田之奨学基金	3,525万3,150円	3,525万3,150円
合計	107億6,249万3,398円	108億5,609万9,501円	

熊本県下 45 市町村のうち 7 番目の保有高

〈一般会計〉

総務課

問 交通安全対策においての、カーブミラーの清掃・点検は。

答 交通指導員に出してもらい、対応している。

問 防犯カメラの設置状況と充足度は。

答 設置台数は19台。活用は、主に行方不明者の捜索や交通事故関係で警察から依頼があっている。充足度については、現状で事足りていると感じている。

問 交通安全対策で道路区画線の補修は。

答 道路の外側の区画線、中央部の波線路肩のグリーンベルト、停止線、横断歩道「とまれ」、「速度落とせ」等の表示について通学路点検や住民の要望に応じて対応している。



区画線が消えている道路

企画政策課

問 バイオ炭実証委託の状況は。

答 あさぎり商社に委託して製造しているが、ある程度ストックできた分で水稻薬草農家、畜産農家に試験的に使ってもらっている。

問 脱炭素事業への取り組みの進捗状況は。

答 町と連携協定の町内事業者が、太陽光パネル蓄電池の導入・ソーラーシェアリングに取り組んでいる。

財政課

問 財産管理除草作業の委託状況で、実施回数を増やすことは出来ないか。

答 おおむね全施設2回程度 of 除草作業が出来よう予算計上しているが、状況に応じて対応出来るよう現予算を確保している。

問 森林環境譲与税の活用状況は。

答 担当課と予算査定の場合で議論をかさねているが、現在は、基金に積み立てている。目的に沿って積極的に活用していくべきと思っている。

生活福祉課

問 少子化対策の一環として出生祝い金事業（1人10万円）の令和6年度は対象が48人であった。人口減少対策として単価の見直しは。

答 これまで子育て支援として給食の無償化や保育料の無償化がある。出生祝い金の単価に関しては、庁内での協議が必要。先進地の事例等を見て考慮する。

農林振興課

問 素材生産の売り払いにおいて、販売を個別対応出来ないのか。

答 今のところ考えていないが、収入が高くなるか、経費が高くなるか等の検証はしてみたい。

農業委員会

問 農地中間管理機構事業の委託状況について。

答 貸借が207筆、特例での売買が41筆となっている。

商工観光課

問 台湾にも「幸福」が名前につく駅があるということ、くま川鉄道を通じ各種交流により交流人口を増やすことになると思うが、こういった協議がなされているか。

答 お互いの交流を深めるという事で連携協定を結んでおり、交流の活性化に努めていく。

問 ビハ公園は、平成8年にキャンプ場として整備され開業28年となる。今後、キャンプのニーズに合わせた施設整備は。

答 キャンプ場も含めた公共設備の活用について調整をしており、調査結果を踏まえキャンプ場のあるべきリニューアル方法を検討する。

建設課

問 清願寺ダム工事に係る町道整備の対応は。

答 住民にとって大事な生活道路でありダムの浚渫等で道路が傷んだ時は、随時補修をやっていく必要があると認識している。

問 道路改良において、歩道・自転車道の整備は。

答 歩道幅が2・5メートルでも警察との協議があれば通行可であるので、安全・安心に自転車走行出来るよう関係機関と協議を進める。

教育課

問 中学校の部活動については補助金があるが、小・中学校において、英語検定以外の検定試験を受けることはないのか。今後、支援の在り方について検討は。

答 本年度の受験予定者は、中学校124人、小学校18人。中学生の英語検定以外に対する町の補助については、受験状況や費用について、状況等を確認把握しながら、今後の補助の在り方を検討していきたい。

問 図書館の利用状況は。

答 生涯学習センターの来館者数は年間で5,544人(月平均462人)せきれい館は年間1,554人(月平均126人)。

問 昨年、常任委員会で視察した図書館では電子図書があった。デジタル化を進めていく中でひとつの選択肢として検討してみては。

答 県内の当町より小さな自治体でも導入しているところがある。図書館に行きたくても行けない方にとっては、非常に便利なもの。今後、検討の必要性を感じる。

問 伝統芸能保持継承団体が22団体あるが、踊り手の後継者が少ない中での現在の活動状況は。

答 助成しているのは6団体のみ。発表の場や3Dを使っている記録の保存の在り方など検討していきたい。



柳別府太鼓踊り

問 上総合運動公園運動場付近及びテニスコート横の樹齢70年以上、約80本あまりのヒノキ伐採委託料が304万1千円計上されているが、市場で販売できたはずの売上金を収入として受け入れられていない。町民の財産である立木処分の認識は。

答 教育委員会の所管事業であったため従来の造園業者に依頼したが、委託業者から金にならないとの事だった。立木について、価値なるものになるという認識が不足であった。

〈介護保険特別会計〉

問 現在、第9期の介護保険計画であるが今後3年間の決算と今後の見通しは。

答 要介護認定者は927名で昨年より30名増加。給付費は約17億600万円。計画書より1億9、200万円ほど安くなっている。要因として、要支援認定者の増加と要介護認定者の減少がある。町内の介護事業所が人員不足で休廃止しているところがある。その影響で給付費が計画値より減額となっている。介護保険料の保有額としては一定の取り崩しを行い

高齢者の介護保険料の負担軽減を行う予定。



〈後期高齢者医療特別会計〉

問 歯科口腔健康診査委託料73万1、933円の対象者は131名で、全体の4・6%である。この数字をどう捉えているか。

答 令和6年度の県内で11番目に良い数字。

問 高齢者の方にとって口腔ケアは誤嚥性肺炎予防の有効的な手段でもあり、ひいては通院、入院等の医療費の抑制にもつながる。今後交通弱者の通院支援としてデマンド交通の案内や、家族向けに取り組みの効果のチラシの同封、場合によっては歯科医の出張審査等検討してみてもいいか。

答 自分で病院に行けない方のためにデマンド交通や個別訪問が出来る体制を取り、費用的なこともあるので十分に検討して実施できたらと思う。

〈企業会計〉

上下水道課

問 監査の意見書の中に、「有収率が71・6%（昨年に比べ5%下降）配水量の4分の1が失われている」とある。過去5年間この低い状態が続いているが原因の解明はできているのか。

答 上水道配水管の老朽化による漏水が一番の原因。地区を区切って漏水調査を行い、随時修繕を行っているが新たな漏水が発生しているため、有収率が改善しない状況。

問 県の令和5年3月の水道広域化推進プランでの県平均有収率は85・6%、あさぎり町は73・4%と郡内で一番低い。インフラ整備については、予算の増額などの具体的な対策が早急に必要だと思いが。

答 老朽化が一番の原因、年次的な計画で更新を続けていく。



問 水道料金自体が上がってきている。出資金の積み増しをしていく事も必要ではないか。水道料金だけの収益的収支では賄えない事は明白。早めの財源確保は出来ないか。

答 水道料金についても、独立採算が原則ではあるが、なるだけ住民の方の負担がないように考えていきたい。工事費の増加等により、企業会計が不足するような場合には、事前に町民の方へ周知を徹底していかなければと考えている。

○代表監査委員への質問
問 議会の3機能(チェック・監視・調査)を活かす中で、本町の財政調整基金の在り方について意見は。

答 財政調整基金が今後増えるとは思っていない。財政調整基金を町のために有効に使っていくことを皆さんで考えていただきたい。



【一般会計決算認定】

認定第1号「令和6年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定」に対する附帯決議

令和6年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算のうち、上総合運動公園付近町有地及びテニスコート横のヒノキ伐採業務について、財産的価値の検証が不十分なまま処分されている。このことは、町民の財産であるとの認識欠如といわれても仕方がない。

今後、財産の処分に当たっては、全庁的に横の連携を保ちながら慎重に執行されることを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和7年9月19日提出

反対討論 (溝口議員)

教育委員会において、総合運動公園テニスコート横及び上総合運動公園付近町有地樹齢70年以上、80本余りのヒノキが伐採されたが、販売できたはずの売上金が歳入として計上されていない。

町長、副町長、教育長並びに職員が町民の財産であるという認識が欠如している。各課連携の希薄化が顕著に表れている事例でもあり、町は大きな損害を被った。

賛成討論 (小谷議員)

全ての事実が具体的に明確になっているとは理解していない。財産の処分について、具体的にいくらの評価額で、いくら経費がかかって最終的に町の収入がどうなったかという、具体的で明確なデータが議会に示されたわけでもなく、状況が全て把握されていない。そのような中、財産処分において町に明確な損害を与えたかどうか明確でない段階で断言する事はできず、それを理由に決算認定が不適切とは判断できない。

令和7年度 第4回会議 表決一覧表 (反対者のみ×印記載)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
氏名	小松	加藤	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	森岡	豊永	山口	皆越	溝口	永井	小見田	
議案															
認定第1号												×		—	認定

※議長は採決に加わらない。

第3回会議（7月18日開催）

全議案
全会一致で
可決

1. 和解及び損害賠償の額を定めることについて

賠償額 1,165 千円

原因 町管理のメーターボックスが水道管を破損したため

2. 一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ 5,294 万 1 千円を追加し、総額 130 億 8,480 万 5 千円とする。

主なもの

- ・定額減税調整給付事業 5,228 万円
- ・部活動各種大会出場費補助金 65 万 6 千円

第4回会議（9月10日～19日開催）

全議案
全会一致で
可決

1. 条例の一部改正

あさぎり町立学校体育施設の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定
他 3 件

2. 一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ 3 億 2,933 万 9 千円を追加し、総額 134 億 1,414 万 4 千円とする。

主なもの

- ・コンビニ収納代行業務委託 22 万円
- ・おたふくかぜ予防接種助成金 163 万 9 千円
- ・新規就農者確保緊急円滑化対策補助金 401 万 2 千円
- ・農地費 齋堂地区設計委託料 2,600 万円
- ・地域イベント補助金 100 万円
- ・環境整備資材等支給事業 314 万 3 千円
- ・道路新設改良費 500 万円
- ・小学校管理費 340 万円
- ・林業災害復旧費 500 万円



3. 齊堂地区排水路改修工事（5工区）工事請負契約の締結について

契約の相手方 株式会社上野建設

契約金額 8,470 万円

<審査報告>

令和7年度陳情第4号

・厚生文教常任委員会で調査、審査の結果「趣旨採択」と報告があり、全会一致で「採択」となる。

「人吉球磨准看護学院に対する支援について陳情書」

陳情書にあった 21 ページにわたる平成 25 年度から令和 7 年度分までの詳細な資料を基に委員会で審議した。看護師の育成・人材育成の点からも非常に賛同するとの意見があり、不採択の意見はなかった。どの業種においても、人材不足に苦慮されており、看護師の人材育成の観点からも賛同する。

審議内容の抜粋

▼議案第22号 あさぎり町立体育施設の利用条例について
教育課

問 体育館使用に当たって学校部活動が優先されるのか、または予約が優先か。

答 施設の予約はシステムでも出来るが、使用については部活動が優先される。

▼議案第24号 令和7年度一般会計補正(第4号)について
農林振興課

問 齊堂地区排水路改修工事設計委託料について、県との協議内容と隣接する遊水地予定との関連は。

答 従前の排水樋門排水路の断面を大きくするところで協議している。遊水地については県が計画中であり協議を進めていく。



健康推進課

問 おたふく風邪の予防接種において、要綱等の制定がなされているか。また、健康被害等の対処方法は。

答 今回は任意接種であることから償還払いにしたい。現在償還払いの規則等があるので追加又は改正していきたい。定期接種については予防接種健康被害救済制度があり、任意接種については、医療品副作用被害救済制度がある。

▼議題第26号 令和7年度水道事業会計補正(第2号)について
上下水道課

問 時間外手当は、今後見直しが必要では。

答 前年実績をもとに割増計上していたが、施設の老朽化に伴う修繕業務が発生し年々増加している。今後精査を行い予算計上したい。

<意見書>

・総務建設経済常任委員会と厚生文教常任委員会の合同で「町道及び学校等の公共施設における雑草繁茂に関する環境整備に関する意見書」が提出され、全会一致で「採択」した。

町道及び学校等の公共施設において、雑草が繁茂し景観を損なうとともに、子どもや高齢者が安心して利用できない状況にあり、景観も悪化し、町民の快適な生活環境を損ねているので、下記のとおり意見書を提出する。

1. 町道及び学校並びに公共施設における定期的な草刈り、除草の実施
2. 繁茂しやすい箇所について、今後の維持管理の見直し(防草シート等の活用)
3. 住民協働における環境美化推進体制の構築



子どもや若者が主体的に政治参加を 考える環境づくりを



2次元コードで各議員の
一般質問の動画をご覧になれます。

かがやま
加賀山 みつこ
瑞津子 議員



問

主権者教育を育むには、一過性の

体験に留めることなく学校教育や地域社会全体で継続的に根付かせることが重要。あさぎり町議会は、未来を担う中学生に行政への関心を高めてもらう目的で11年、中学生議会を行ってきた。町は中学生議会の成果と課題についてどう評価しているか。

総務課

主権者教育を推進する上で有意義な取り組みの一つだと考えている。防災備蓄品の活用や通学路の安全対策の改善等、中学生の視点から課題が明確にされて町政運営に進展をもたらした事例もある。

問

政治参加について投票率を見てい

くと令和6年3月熊本県知事選挙では18歳37%19歳28%、最低は20歳19%、最高は70歳66%。この数字についてどう分析されるか。

教育長

政党や候補者がどんな政策を持っているのか等については、特定の事学校で学ぶ機会はない。



問

デジタル時代の主権者教育、若者

世代へのSNS情報の広がり等で、令和7年の参議院選挙では若い世代や子育て世代の関心が高かった。19歳の投票率が低い要因の一つとして住民票は地元にあるけれど進学等で遠く離れた所にて投票にいけない事がある。今後、その世代にどう投票を呼び掛けるかも課題のひとつでは。

町長

学校においては中立性があり、政治的な問題についてはなかなか前に進んだ教育が出来ていないのが現状。政治に対する関心や情報提供をどう進めるのか、どう広がっていくかが大切だと思う。

問

地域農業振興と連携した食育の推

進は農業への理解と関心を高め地場産品の価値を伝える有効な手段では。

農林振興課

食育は生産者だけでなく子どもや地域住民の農業とのつながりを築く有効な手段であり、担い手育成にも寄与すると考える。



稲作を通じての学び



国の高校無償化に関し、地元の高校の魅力をどのように向上させるのか。

こまつ えいいち
小松 英一 議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。



問

国の高校無償化政策が、都市部の

高校の入学志望者を増加させ、地方の公立高校の入学生は、減少の一途をたどるのではないかと危惧されている。これに対する町の現状と今後の方針は。

町長

学校の選択の在り方が変わっていくことは間違いないと思う。少子化の状況の中で、生徒の流出が続くと地元高校の定員割れ、統廃合の問題につながることも想定されている。私たちは生徒の意思を尊重しつつ、それぞれの選択を支える柔軟な姿勢が必要であると感じている。

問

あさぎり中学校の卒業生の進路は。

教育課長

直近3カ年では、98・7%が高校に進学している。その内、21・4%が管外高校への進学で、スポーツ、英語課程、看護学科など地元でない高校に進学している。

問

南稜高校の魅力向上案として、機

械や資材の提供や利用の連携、資格試験費用への助成、授業で使用するパソコン代の軽減支援、管内高校進学者に対する球磨人吉の自治体による財政支援などを学校関係者から提案されたがいかがか。

町長

地元に残っていただくために、今後は球磨人吉全体で、農業者や企業との連携や財政支援など地元の高校の在り方を考えていかなければならないと思う。



避難所への交通アクセスの改善は

問

深田地区の高山運動公園は、西側

から向かう町道の幅員が狭く、車両の離合も困難である。また、上地区の

町長

上総合運動公園は、公園内の進入路が狭くて車両の離合に支障がある。どちらにも体育施設としての利用も多いので、確認と対策を検討してもらいたい。

災害時のみならず、平時の際にも利便性に関わる問題だと思うので、庁内で再度検討したい。



高山運動公園へ行く道路幅

岡留公園とその周辺の管理は



ながい えいじ
永井 英治 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問 岡留公園とおか
どめ幸福駅、並び
にその周辺の管理の現状
は。

町長

岡留公園は今年4月に遊具をリニューアルし現在は沢山の子供たちに楽しんでもらっているが、岡留公園の周辺はなかなか管理が行き届いていないのが現状である。おかどめ幸福駅は観光の拠点として売店を整備し観光振興を図っているところであるが、令和2年7月豪雨以降、くま川鉄道の部分運行もあって来訪者が減少してきている。しかし、最近は夏目友人帳の聖地巡礼で訪れる方も増えてきているので、くま川鉄道の全線運行を機に岡留公園への誘導を含めて周辺整備の必要性を感じている。あわ

せて、くま川鉄道と台北新北鉄道との連携協定も生かした取組で交流人口の創出も図れればと思っている。



リニューアルされた岡留公園の遊具

問 おかどめ幸福駅
周辺の雑草対策の
現状は。

商工観光課長

現在、おかどめ幸福駅周辺は指定管理業者が管理を行っているが、雑草の管理までは行き届いていないのが現状であるので

今後雑草の管理についても指定管理業者と協議をして行きたい。また、樹木の枝木についても、専門業者に管理を委託するように準備を進めている。

問 町内全域の夏場の雑草対策についても今後予算を増額してでも対応していかれることを望むが。

建設課長

現在、町内の除草作業は、町道を8名、公園を2名の作業員で対応しているが、外部委託でも年2回実施している。今後路線によって年3回の除草を計画する場合は、財政課との協議も必要と考える。また、今後は農業支援センターの活用も含めて対策を考えていきたい。

副町長 雑草対策は重要な課題と認識している。財政的にもしっかりと精査しながら、町内全域の道路や河川がきれいな環境であるように努めていきたい。



雑草が繁茂する免田川の堤防

その他の質問

●農業の「地域計画」における兼業農家への支援策や山間部での農地の受け手不足の改善策について



民生委員の処遇改善並びに活動支援の充実を

みぞぐち 溝口 峰男 議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。



問 民生委員の活動は、生活困窮者の増加、DV、不登校、子ども食堂、孤独死、そして災害対応等の多岐にわたる。日々の活動状況の報告にデジタル技術を活用し事務の負担軽減ができないか。

町長 費用弁償・日当については職員と同じ扱いとなっているが、旅費規程を変更し消防団・民生委員の方々の活動に対しては、別の考え方で費用弁償を組んでいく。

問 民生委員のなり手不足は全国的に深刻な状況である。なり手不足対策の一つとして、活動時に支払われる費用弁償1、1000円を合併時の1、7000円に戻す事はできないか。

問 民生委員の活動は、生活困窮者の増加、DV、不登校、子ども食堂、孤独死、そして災害対応等の多岐にわたる。日々の活動状況の報告にデジタル技術を活用し事務の負担軽減ができないか。

問 障害者基本法が平成23年に改正され、他の自治体では、「手話言語の普及及びコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を制定し事業を推進している。しかし、あさぎり町では、第5次保健福祉総合計画においても具体的な取組はなく進んでいない。今年6月18日に手話施策推進法が成立したが、あさぎり町においても条例を制定し、手話言語の普及及びコミュニケーション手段の利用の

デジタル政策審議監 インターネット上のアンケートフォームから当該件数の報告が行えるようにすることは実施できると考える。

手話言語の理解と普及に向けた条例の制定を

問 今、墓を守り受け継ぐ人がいないため、納骨堂を希望する人が多くなってきた。官民連携で納骨堂の整備ができないか。

官民連携による納骨堂の整備を



手話学習

町長 促進を推進すべきではないか。

非常に重要な施策と
思っている。議員から提出された資料（条例案）を参考に進めていきたい。



花牟礼霊園
(空き区画 75%)

町民課長 町の墓地公園（花牟礼霊園）は空き区画が250区画（75%）ある。今後、墓地公園の利用者促進のための施策が必要であると思う。

町長 花牟礼霊園の土地を活用して、納骨堂建設は非常に有効な手段だと思う。

財政（基金）と人口減少対策について



かとう ひろし
加藤 弘 議員



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

問 人口減少が予想より早いスピードで進んでいる。財政（基金）と人口減少対策のための事業とのバランスについては。

町長 将来的に税収の減少や、公共サービス、インフラ整備の維持が困難になることが予想される。人口減少の問題は、財政運営上、極めて重要な課題と認識している。

問 国や県の対策があってもゆるがない、あさぎり町独自の対策があっても良いと思う。あさぎり町では、産業振興が大事である。「商工業」については地元で就職された方々に、大きな夢を送り、支援をしたらどうか。

町長 地元の一般企業に就職された方々に関しての助成がないので、今のところ奨学金の返済に対する支援を、担当課で考えている。

町長 現在の制度については、令和6年度からの事業であり3年間となっているので、今後、継続するにあたっては、課題を積み上げて、その後の継続の形を見出していきたい。

問 あさぎり町で将来に渡って、自然災害があっても、安心して農業が継続できるように「農業収入保険」への加入に対する補助金のアツプができないか。

町長 農業機械の導入支援があるが、補助率が3分の1以内となっている。この補助率をさらに上げて、経営の安定化のための支援は出来ないか。

問 認定農業者以外は、補助対象外となっているのか。

町長 機械利用組合、農作業受託事業者、スマート農業推進者の支援を制度化して、補助要件を拡充することとしている。

問 補助対象者を県や国の補助事業と同様に、町の基本構想に示された農業経営の目標が達成、または見込みのある認定農業者や認定新規就農者としている。

町長 認定農業者以外は、補助対象外となっているのか。



令和7年10月稲刈り状況

問 山林監視員の労働条件の改善は。

町長 人吉球磨管内の山林監視員の作業内容、業務内容は様々であるので、適正化を図りながら精査していきたい。



町有林

その他の質問
● 全会計の基金の推移について
● 町の財政が、県下でどのような状況あるか



次世代へつなぐ、あさぎり町の農業 農村の振興策は

こみた かずゆき
小見田 和行 議員

2次元コードで各議員の一般質問の動画がご覧になれます。



問

日本の基幹的農業者の推移は2020年。136万人、2023年に116万人、現在は人口の約1%程度になっている。それも65歳以上が7割である。あさぎり町の状況は2000年から2020年の20年で1,953人から1,337人に減り人吉球磨でも34%減少している。将来、誰が農地の受け手となり利用していくのか危惧されるところであり、全国的課題に向け農地利用を明確化した「地域計画」の策定が2025年3月までに各自治体に求められ、すでに公告されている。あさぎり町では深田地区の一部にその心配があり他の4校区には無いとの結果だがそれに相違ないか。

農林振興課長

農家意向調査の結果深田校区はこれから農地

の引き受け手の不在が予想されるが、4校区は個人農家または須恵かちやあにおいて、規模縮小面積を規模拡大面積が上回っている状況。今後は状況の変化に応じて計画も見直していく。

問

受託組織である農業サービス事業体への期待は高いが、その事業体も現在は厳しい経営状況にある。その組織育成、支援についてどのように考えているか。

農林振興課長

農事組合法人や他にそれがない場合に対する対応や検討は必要と考えている。

農村振興策について

問

農村の振興として景観も重要な要素であるが、雑草の繁茂が目立つ様になってきた。現況の感想と対策は。

町長

農業支援センターの作業が追いついていない現状だと思う。中山間地域においては国土保全等多面的役割もあるので、環境は維持すべきと思っている。

問

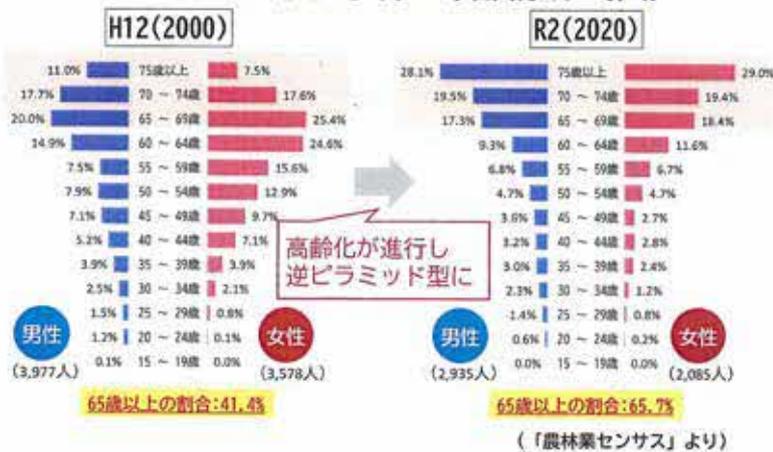
町で受託法人を立ち上げ対応するための検討委員会設置は考えられないか。

町長

今後は農作業受託システムについても勉強してみたい。まずは地域計画に従って進めていくことも重要かと思っています。

1 人吉・球磨地域の農業の現状②

基幹的農業従事者の年齢構成の推移



高齢化が進行し逆ピラミッド型に

厚生文教常任委員会

○6月10日
所管事務調査

- (1) 視察研修について
① 管内の文化財視察について、日程調整後に実施する。
② 管外研修について、公営墓地の在り方、健康づくり先進地視察等の提案があったが、全体研修も含め総務建設経済委員会と調整する。
③ 政務活動費の考え方について、今後全議員での意思確認が必要。
(2) 町内各種団体との意見交換会について、委員会と交流会として計画する。
(3) 広報委員3名の選出

○7月31日
管内文化財現地視察

須恵釈迦堂の国の重要文化財指定を受け現地を視察。あわせて看板、モニユメントの書き換え、修復の状況、確認。今年発掘30周年の記念行事が計画されている木目遺跡を含めた6カ所の管内文化財の視察を行った。
・深田荒茂毘沙門堂・須恵釈迦堂・須恵諏訪神社・鬼の釜古墳
・才園古墳・木目遺跡

○8月4日
人吉球磨准看護学院陳情書について審議し、委員会として「趣旨採択」とした。

総務建設経済常任委員会

○8月13日

雑草等繁茂状況現地調査（岡留公園・おかげめ幸福駅）、指定管理を行っている場所の説明を受ける。

- ① 幸福駅売店② トイレ③ 駐車場及びレンタサイクルの駐車場④ 芝生広場、花壇、駐車場4か所が指定管理に含まれている。

問 指定管理者との協議・委託契約についても内容を見極める必要があるのではないか。

答 今後検討する。令和8年には、くま川鉄道が全線開通する予定のおかげめ幸福駅についてもイベントの開催も必須になってくると思われる。岡留公園もリニューアルされたので集客を図っていく。

問 南校高校のオープンカフェについては。

答 生徒数の減少による活動範囲の縮小等が影響したものと認識している。今後、相談しながら検討していくことも必要と考えている。

問 道路維持管理は、限られた人数でしており、この猛暑では無理が来ると思うので増員が必要ではないか。

答 年間通して何人増やすのか検討していく。

NEWS

歌舞伎座にあさぎり町産米提供

町と、歌舞伎座（東京都中央区）内の飲食店の運営や幕の内弁当を手掛ける「歌舞伎座サービス」は、10月8日に飲食店等で提供する弁当に町産米を使用する覚書書を交わした。

今秋から1年間あさぎり町産ヒノヒカリを、同社が計約6トンの取引を見込み、歌舞伎役者が町産の米を口にする可能性もある。高橋浩一郎取締役によると、歌舞伎が題材の映画「国宝」がヒットした影響もあり、歌舞伎座内の飲食店利用は増加傾向であるということだった。



町村議会広報委員研修会



第1部 丘村講師



第2部 渡川講師

令和7年8月28日
東京都渋谷区
LINE CUBE
SHIBUYAにおいて
全国町村議会の広報委員研
修会が開催されました。
スケジュール構成は次の
通りです。

第1部「インタビュー記
事を足して読まれる広報誌
にしよう」第2部「スマー
トフォンを活用した撮影技
術・動画作成の基本」第3
部「議会活性化と連動した
広報誌づくり」

それぞれの部門が、各講
師の専門性を活かしたポ
リウム感あふれる中にも
非常に分かりやすい内容で
した。デジタル時代の現代
は、スマホを活用した動画
作成や情報発信は当たり前
の事になっていますが、議
会広報誌においては今でも
紙媒体の文章表現であり、
モノクロ画像が多く、残念
ながら地域住民全ての方に
幅広く情報が行き届いてい
ると思えない状況です。
しかしながら、議会での長
時間にわたる審議や質疑内
容をできるだけ要約し的確
に伝えるという作業は、議
会広報委員にとってはある
種の技術鍛錬となっている
のも現実です。これからも
研修で得た知見を活かし
て、住民の皆様にとつ
て頂けるような議会広報誌
の作成に取り組んで参りま
す。そのために特に必要な
ことは、住民の方が『いつ
でも・どこでも・どんな事
でも』議会に対して声を挙
げやすい環境作りであり、
その実現がよりよい広報誌
の作成につながっていくと
確信しております。今後、
皆様に直接インタビューす
る時があるかもしれませ
ん。その時は、ぜひご協力
よろしくお願い致します。

(難波 文美)

熊本県町村議会議員研修会



令和7年10月9日

熊本県町村議会議員研修会があさぎり町議会委員会室でオンライン形式において開催。元大和大学政治経済学部教授 田中富雄氏による「これからの一般質問のあり方」という演題で講演を受けました。

〈研修所感は〉

一般質問は、議員活動の成果と政策資源として活用することにより、総合計画や予算案等に議会の政策意思を反映させ、議会活動及び政策活動を見える化に図る事が大事です。

(森岡 勉)

官民連携支援事業先進地視察研修



若杉高原おおやキャンプ場（兵庫県養父市）



あゆ公園（兵庫県養父市）



THE610BASE（京都府福知山市）



FORESTDOR（兵庫県丹波市）



令和7年9月25日～9月26日

場所 京都府福知山市・兵庫県養父市・丹波市

目的・内容

あさぎり町誕生以来の課題である遊休資産（土地・施設等）の利活用について、町はその計画策定に取り組んでいるところで、具体的には、旧役場跡地・旧中学校校舎跡地・各老朽化施設などの有効活用を目指すものです。

議会としても特別委員会を設置し共に検討を進めているところで、この度、先進事例の視察研修を実施しました。

○若杉高原おおやキャンプ場（ビハ公園再整備への参考として）

・指定管理であるが運営に地元の意向を尊重する仕組みを取り入れた住民参加型とし、収支のみに力点が置かれていない。

○廃校跡地での体験型農業施設及び地域産材の魅力を伝える体験型施設

・取り組みのスタートが、「廃校跡地の活用ありき」ではなく「他業種からの農業参入」と明確であった。

・「小学校跡地の有効活用という地元住民の要望」と「県産材活用への情報発信という運営企業のビジョン」がしっかりとマッチし結果に表れている。

今回の視察施設については、3社いずれも運営者側の明確なポリシーとその実現へ向けた的確な対処方針が感じられ、本町でもその様な民間事業者の参入が可能となる計画づくりの重要性を再認識しました。

（小谷 節雄）

8月～10月活動内容一覧

月	日	行 事 名	参 加 者
8月	4日	議員懇談会・全員協議会、厚生文教常任委員会	議員
	6日	令和7年度国道219号整備改良促進期成同盟会総会（宮崎県西都市）	議長
	13日	総務建設経済常任委員会	議員
	20日	令和7年度町村議会正副議長研修会（熊本市）	正副議長
	25日	全員協議会	議員
	27日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	28日	議会広報全国研修会（東京都渋谷区）	議員
9月	1日	議員懇談会・全員協議会	議員
	2日	議会運営委員会	議員
	8日	議会運営委員会・全員協議会	議員
	8日～19日	第4回会議（定例会）	議員
	11日	第67回熊本日日新聞金婚夫婦表彰並びにあさぎり町金婚夫婦表彰式（ポッポ一館）	議長 厚生文教常任委員長
	17日	厚生文教常任委員会、議会運営委員会	議員
	19日	議会運営委員会・全員協議会	議員
	22日	広報調査特別委員会、郡定例議長会（人吉市）	議員、議長
25日～26日	先導的官民連携支援事業先進地視察研修（京都府福知山市、兵庫県養父市）	議員	
10月	1日	厚生文教常任委員会	議員
	3日	厚生文教常任委員会、議員懇談会・全員協議会	議員
	4日	笑祭	議長
	7日	球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会（湯前町）	議員
	8日	中学校駅伝コース除草作業	議員
	9日	熊本県町村議会議員研修会（オンライン）	議員
	21日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	23日	全員協議会、第5回会議、地方自治の未来を創る調査特別委員会	議員
	25日	あさぎり町文化祭、第73回球磨一周駅伝大会結団式	正副議長
	28日	鹿児島県湧水町議会・大分県杵築市議会視察対応、百太郎水戸神社秋季感謝祭	議長
	29日	熊本県町村議会議長会監事会（熊本市）	議長
	30日	岡原霧島神社秋季例大祭	議長
	31日	第74回球磨畜産共進会開会式（錦町）	議長



10月7日 球磨郡議長会グラウンドゴルフ大会



10月8日 中学生駅伝コース除草作業

町民の声

聞かせて

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

岡原北（松山） ^{わきざき} 脇崎 ^{みき} 美紀さん

「人は、幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになるのである」小学6年生の息子はこの言葉を体現して生きています。彼は、診断当初全国に二百人ほどといわれていた希少難病ムコ多糖症2型と共生しています。この病は、心臓病と知的障がいというおまけもつけて彼の所にやってきました。

病気がわかった当初は、元気に産んであげられなかったことへの申し訳なさで自分を責めていた私ですが、今では私を親に選んでくれたことへの感謝と誇らしさしかありません。彼の生き方が、そういう私に変えてくれました。

日本は、インクルーシブ教育がまだまだ浸透していないと聞きますが、この言葉を知るはずもない、彼の沢山の友だちが、それを実現してくれている場面を数えきれない程見せてもらっています。それを目にする度、人に恵まれていることへの感謝で胸がいっぱいになります。

これからも、幸せが溢れ出している息子と家族と沢山笑って、学んで、命の深さを体験させてもらおうと思います。

彼を見かけたら、みなさんどうぞ声をかけてやって下さい！よろしくお願いします。



編集後記



『実るほど頭を垂れる稲穂かな』10月の青井さんのおくんちを皮切りに、球磨人吉では豊作に感謝をささげる秋祭りが行われています。昨年から米不足で全国民が米の有り難さを再確認した年でもありました。

日本古来の大和言葉で百姓には「おおみたから」（天皇が慈しむべき天下の大いなる宝である万民の意味）の和訓がふられています。併せて「米」の字には八十八の手間をかけるという思いが込められています。地元の大切な農業を、食育を通じて次世代に伝えていく。この豊かな自然と歴史と温かい人情をみんなでないでいさましよう。
(加賀山 瑞津子)

編集発行者 議長 小見田 和行

広報調査特別委員会

委員長 森岡 勉

副委員長 加賀山 瑞津子

委員 難波 文美

委員 豊永 喜一

委員 山口 和幸

委員 溝口 峰男

※本紙内容の無断複写およびSNS等への投稿、掲載は一切禁止します。
 ★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。